



# 鹿児島県護憲平和 フォーラム情報



NO—189 2026 年 2 月 2 日

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム Email:info@k-peace-forum.org  
連絡先：鹿児島市鴨池新町 5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

## 籬（たが）を締め直す

代表 下馬場 学

このフォーラム情報 189 号がでて間もなく衆議選の結果も判明する。今回の選挙は、誰の目にも明らかなように高市首相の支持率の高さのみを頼みにした「自分勝手・暴走解散」でしかない。「とても解散など考える暇はない」の舌の根も乾かないうちに。このような「自分だけのための政治」になってしまったのか。「恥ずかしい。」

高市首相が師と仰ぐ安倍首相は「美しい日本」「戦後レジームからの脱却」と嘯きながら、「森友・加計問題」「桜を見る会」など自分のための政治に終始した。政治の私物化がそこにはある。

長引く物価高の中、給食で命を繋ぐ子どもたちがいる。その中での総選挙実施。総選挙を行うには 700 億円とも 800 億円ともいう経費と膨大な自治体職員の作業が伴うと言われる。自党のため、そして自らの権力を保持するための選挙。高市首相・自民党には被爆者も貧困に喘ぐ国民も見えていない。何のために政治があるのかも見えていない。

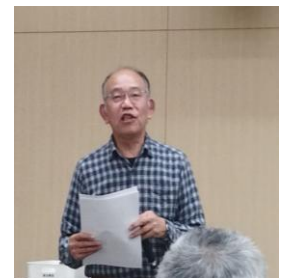
今、高市政権は「非核三原則の見直し」に言及している。岸田元首相でさえ核兵器禁止条約の批准・承認しない言い訳に「核保有国と非保有国との橋渡し」という言葉を使った。そこには被爆者の苦しみ・悲しみ、そして「核兵器を使ってはならない」

といった国民共通の認識があったはずである。高市政権には被爆者は見えていない。

兵器を「防衛装備品」と言い換えて、5 類型の撤廃を検討し、殺傷性のある武器までも輸出しようとしている。安保三文書の改正も視野に入れている。先の戦争では日本人だけでも 300 万人・アジアでは 2000 万人ともいわれる犠牲者を出し「過ちは繰り返しませんから」と誓った国が、大資本の利益のための「死の商人」と化していく。

籬が外れ「金だけ・自分だけ・今だけ」の風潮は日本だけでなく全世界を覆っている。そうした中、あろうことか米国が南米ベネズエラの主権を侵害した。明らかに国際法違反であるし、資源目当て・自国の利益目当ての「恥ずかしい」行為だ。許してはならない。米国に異を唱える国でありたい。

犠牲者・被爆者のことを忘れない。日本だけではなく「地球上から」の視点に立ち、原発はいらないからこそ乾式貯蔵庫建設に反対し、弾薬庫の建設・国土の軍事化も許してはならない。足下の出来ることからとりくんでいこう。



## 1.24 川内原発「乾式貯蔵を考える」学習会

2026 年 1 月 24 日(土)午前 10:00 から鹿児島県民交流センター 3 階・大研修室 1 で講師に末田 一秀(すえだ かずひで)さんを招いて、脱原発かごしまフォーラム主催の 1.24 川内原発「乾式貯蔵を考える」学習会が開催されました。末田さんは、はんげんぱつ新聞編集長で「核のごみキャンペーン関西」のメンバー。大阪府庁で 1980 年から 2017 年度まで環境行政に従事され、自治労の脱原発運動に取り組み、原子力防災に詳しい方です。さらに、関電原発マネー不正還流問題で、告発運動の代表世話人を務めています。



九電は、川内原発の使用済み核燃料の保管容量を増すため敷地内に乾式貯蔵施設の新設を決定し、国の原子力規制委員会に原子炉設置変更許可を申請しました。2027 年 10 月着工し、29 年度の運用開始を目指すとしています。使用済み核燃料を青森県六ヶ所村にある再処理工場に搬出できない場合でも、1、2 号機ともに 2038 年まで運転が可能となり、新たに 7 年間の稼働期間を確保することになると説明しています。また、九電は鹿児島支店で会見を開き、担当者は「再処理工場の運転計画や川内の使用済み燃料の貯蔵状況を踏まえ、運転延長の認可を受けた 60 年まで、安全・安定運転を続けるために設置する」としています。川内原発で現在、使用済み燃料を保管しているプールの貯蔵量は 2025 年 9 月末時点で 1 号機 7 割、2 号機 8 割で、プールを共用化しても 2031 年に満杯となります。再処理工場の完成が大幅に遅れる中、対応を迫られています。乾式施設は、プールで 20 年以上冷やした燃料を金属容器（キャスク）に移し、空気の自然対流で冷やすシステムです。建屋は 1、2 号機の近くに設け、床面積約 1,600 m<sup>2</sup>、高さ約 15m の鉄筋コンクリート 1 棟に、使用済み燃料棒 28 体を収容するキャスク 20 基を設置する計画です。

末田さんは、九電の川内原発乾式貯蔵計画に、非常に危険で反対であることを強く語られました。使用済み核燃料は、長期間放射能を放出するため、貯蔵容器の経年劣化や自然災害など、あらゆる状況下における安全性を検証しなければならず、維持管理には高い費用がかかり、完全に安全を確保するのは無理であること。使用済み核燃料が原発施設内に大量に保管され、核燃料サイクルが破綻している今、川内原発が、使用済み核燃料の最終処分場になることまで指摘されました。また、乾式貯蔵施設は、火山灰に弱く火山島の鹿児島には不向きであることもわかりました。

核燃料サイクルが破綻している今、原子力発電所が使用済み核燃料の最終処分場になるような乾式貯蔵施設の建設・設置を絶対に認めることは出来ません。私たち「脱原発鹿児島フォーラム」は、九州電力経営ビジョンが報道されたあとの薩摩川内市長と、県知事に「次世代型原発や乾式貯蔵」整備を認めないよう、また、九電に対しては「次世代型原発や乾式貯蔵」の検討撤回を求めています。川内原発敷地内が、半永久的に核のごみの貯蔵地とならないよう、皆様のご協力を、お願いします。



## 熊毛ブロックの取り組み

### 馬毛島の今と昔

1 月 11 日（日）、馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会が主催する報告会に、熊毛ブロック護憲フォーラムも共催する形で参加した。田村貴昭衆議院議員から馬毛島に関する問題点を報告してもらった。契約ベースで、1. 4 兆円を超える予算がつぎ込まれていることや総工費が示されていない点を指摘してもらった。また、島民生活への影響も住環境や交通へ多大な影響があることも報告された。



質疑が始まると、参加者から「攻められたどうするのか」という質問が田村議員へ向けられた。田村議員は否定されるかもしれないが、私は明確な回答は避けたような感じを受けた。私は軍備を拡大したい勢力は、「攻められたらどうするのか」を錦の御旗にしていると考えている。こうした漠然とした不安を払拭するのは難しいと思うが、感情的にならず冷静に議論する必要があると考える。近隣諸国が日本に侵攻してくる可能性がどれほどあるのか。



台湾有事が発生した際、高市総理は「存立危機事態」に当たると答弁したが、その際「新 3 要件」を満たして日本が武力行使できるのか。仮に台湾有事が「存立危機事態」に当たるのであれば、憲法で武力による紛争解決を否定している以上、どのようにして台湾有事を未然に防ぐのかを真剣に議論する必要がある。こうした国民的議論を経て、基地建設が果たして平和への貢献になるのかを結論付けできれば良いのでは。と思いながら集会を終えた。

### 奄美ブロック取り組み

## 2.1 1 「紀元節」の日に、政治と労働者の平和運動を考える！

日時：2026 年 2 月 8 日（日）午前 10:00～

場所：アマホーム P L A Z A（市民会館）

講師：染 裕之（そめ ひろゆき）さん

プロフィール：1962 年 2 月鹿児島県奄美市（旧名瀬市）生まれ、小学校まで奄美で、中・高校を指宿で、大学を大阪で過ごす。1991 年 11 月東京都環境局（旧清掃局）入職。2017 年 3 月東京清掃労働組合書記長、中央執行委員長 歴任。2023 年 4 月自治労東京都本部中央執行委員を経て、2024 年 4 月フォーラム平和・人権・環境 副事務局長から共同代表就任して現在に至る

テーマ：「中央情勢と労働者の平和運動参画（仮題）」





## 鹿児島ブロックの取り組み

### 「新春団結交流集会」

1 月 23 日（金）に「鹿児島ブロック護憲平和フォーラム新春団結交流集会」が鹿児島市の、国際交流センター他で開催されました。衆議院の解散が決まった中でしたが、64 名の皆様方にご参加いただき、盛り上がった集会になりました。

一部は、県護憲磨島昭広事務局長による講演会で、鹿児島県の要塞化の現状を語ってもらいました。要塞化に反対の声をあげ続けねばと思いました。

二部は、交流会で、各ご来賓のご挨拶そして全参加者の皆さまにマイクを握っていただき新年の決意を披露いただきました。日置坂口裕之市議・いちき串木野吉留良三市議の当選の御礼と決意表明により、私たちの団結力がさらに深まったように感じました。

2026 年度は、激動の年になりそうですが、私たちの団結の力で、高市政権に負けずに、平和な世の中を守っていききたいと思います。皆さんよろしくお願いします。

### **2.11「紀元節復活反対集会」を開催します。是非ご参加ください！お待ちしております！**

日時：2026 年 2 月 11 日（水）午前 10:00～

場所：鹿児島県教育会館 5 階ホール

講師：出水 薫（いずみ かおる）さん

プロフィール：九州大学大学院法学研究院 教授。福岡県生まれ。



### 南薩ブロックの取り組み

### 例年になく盛り上がった新春交流会

恒例となった南薩ブロック新春交流会、今年も枕崎市で 28 人が参加して 1 部はボーリング大会、2 部は懇親会と例年になく盛り上がった。



参加者一同 記念写真 於：枕崎ボーリングセンター